



内閣府

～美ら島の未来を拓く～沖縄総合事務局
定例記者会見（１月）

平成２９年１月１９日（木）１４：００～
沖縄総合事務局６階「特別会議室」

【発表事項】

1. 『金融トラブルから身を守るためのシンポジウムの開催』について
2. 『６次産業化・農商工連携フォーラム in 沖縄の開催』について
3. 『「OKINAWA Cruise Report」の公表開始』について
4. 『沖縄県内に寄港したクルーズ船の２０１６年の実績及び２０１７年の見込み』
について

出席者	沖縄総合事務局				
	総務部長	山	谷	英	之
	財務部長	山	田	康	博
	経済産業部長	寺	家	克	昌
	開発建設部港湾空港指導官	三	島		理

平成29年1月19日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

「金融トラブルから身を守るためのシンポジウム」開催

自分だけは大丈夫だと思わないで、トラブルの現状と予防法を知りましょう

金融商品・サービスを巡るトラブルについて、被害の発生や拡大を防止する観点から、「金融トラブルから身を守るためのシンポジウム」を開催します。

シンポジウムでは、菊池弁護士による基調講演、金融トラブルの相談事例の紹介、そしてパネルディスカッションを行うことにより、金融トラブルから身を守るための注意喚起を図ります。

1. 日時：平成29年2月13日（月）14：00～16：10
2. 場所：ザ・ナハテラス（アダン）

（1）開催挨拶 能登局長

（2）第1部 基調講演

講演者：菊池 幸夫（弁護士）

『より賢い消費者になろう』

金融トラブルの相談事例紹介（金融庁）

（3）第2部 パネルディスカッション

コーディネーター

深野 康彦 { (有)ファイナンシャルリサーチ代表
ファイナンシャルプランナー }

パネリスト

菊池 幸夫 { 弁護士 }

豊里 友仁 { 沖縄県警察本部生活安全部
生活安全企画課 課長補佐 }

仲宗根 京子 { NPO 法人 消費者センター沖縄 理事長
消費生活アドバイザー }



問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局

財務部財務課（担当者：嵩原、宮里）

TEL：098-866-0091 FAX：098-860-1152

金融トラブルから身を守るための シンポジウム

参加無料

私だけは大丈夫だと思わないで、
トラブルの現状と予防法を知りましょう。

日時

平成29年 2月13日(月)

14:00~16:10 (開場13:30)

会場

ザ・ナハテラス (3階・アダン)

沖縄県那覇市おもろまち2丁目14-1



第1部 基調講演

14:10~15:00

「より賢い消費者になろう」 講師 菊地 幸夫 (弁護士)

金融トラブルの相談実例紹介

(金融庁総務企画局政策課)

第2部 パネルディスカッション

15:20~16:10

コーディネーター

深野 康彦

有限会社ファイナンシャルリサーチ代表・
ファイナンシャルプランナー



パネリスト

菊地 幸夫 (弁護士)

豊里 友仁 (沖縄県警察本部生活安全部
生活安全企画課 課長補佐)

仲宗根 京子

(NPO法人 消費者センター沖縄 理事長)
消費生活アドバイザー

定員150名 先着順 申込み締切日2月3日(金)到着分まで
締切り日前でもすでに定員に達している場合は締め切らせていただきます。

Webからお申し込み

<https://www.kytsympo0213.com> の応募フォームにご入力の上、
ご応募ください。

FAXでのお申し込み

裏面のFAX参加申込書に必要事項をご記入の上、シンポジウム(沖縄)
事務局までお送りください。

ハガキでのお申し込み

氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を必ずご記入の上、シンポ
ジウム(沖縄)事務局までお送りください。

※お申込み到着時にすでに定員数に達している場合がありますので、
予めご了承ください。

※参加の可否の通知は参加証の発送を持っかえさせていただきます。
参加証は当日、必ずご持参ください。

※お送りいただいた個人情報、当シンポジウム開催関係の事務以外に
使用することはありません。

お申込に関するお問合せ先

「金融トラブルから身を守るためのシンポジウム」(沖縄)事務局
(株)日産社内)

TEL.03-5652-8687 FAX.03-5652-8690

E-mail. kytsympo0213@nissansha.co.jp

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-17 ASK日本橋ビル5F

内容に関するお問合せ先

沖縄総合事務局財務部財務課 財務広報相談専門官

TEL.098-866-0091 FAX.098-860-1152

※開催会場への問い合わせはご遠慮ください。

主催：金融庁・沖縄総合事務局

後援：内閣府・消費者庁・文部科学省・金融広報中央委員会



菊地 幸夫

弁護士

弁護士(第二東京弁護士会)。番町法律事務所。中央大学法学部卒業。元司法研修所刑事弁護教官。現在、社会福祉法人練馬区社会福祉事業団理事も務める。また、日本テレビ「行列のできる法律相談所」及び「スッキリ!!」にレギュラーとして出演。弁護士業務の傍ら体力作りにも勤しみ、各地のトライアスロン大会へも出場。地元小学生のバレーボールチームの監督等も務めている。

主な著書:

『こんなときどうする一夫婦と親子の法律相談』(共著)
『こんなときどうする一夫婦と親子の法律相談2』(共著)
『こんなときどうする一土地と建物の法律相談』(共著)
『医療過誤と訴訟—その実態と対策 Q&A』(共著)
『学校事故と訴訟 Q&A』(共著)『守られる権利 守るべき法律』(共著)



深野 康彦

有限会社ファイナンシャルリサーチ代表
ファイナンシャルプランナー

1962年生まれ。大学卒業後、クレジット会社を経て独立系FP会社に入社。FP業界歴28年(2016年4月現在)を誇る。金融資産運用設計を研鑽して1996年に独立。現在の有限会社ファイナンシャルリサーチは2006年に設立。さまざまなメディアやセミナーを通じて、資産運用のほか、住宅ローンや生命保険、あるいは税金や年金などのお金周り全般についての相談業務や啓蒙を幅広く行っている。日本経済新聞夕刊「投信番付」のほか連載多数。新聞・マネー雑誌、経済誌などへの執筆・取材協力および金融商品などのデータ提供を行いながら、テレビ、ラジオにも多数出演している。

主な著書:

『これから生きて行くために必要なお金の話を一緒にしよう』
『あなたの毎月分配型投資信託が危ない!』
『1万円から始めるETF投資』など多数。
新著は『ジュニアNISA入門—口座の作り方、買い方、増やし方がカンタンにわかる!』

■お申し込み方法

●Web

<https://www.kytsympo0213.com> の応募フォームにご入力の上、ご応募ください。

●FAX

下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、お送りください。

●ハガキ

氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を必ずご記入の上、「金融トラブルから身を守るためのシンポジウム」(沖縄)事務局
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-17
ASK日本橋ビル5F(株)日産社内)
までお送りください。

申込み締切日 **2月3日(金)** 到着分まで

■アクセスマップ



※締切り前でもすでに定員に達している場合は締切りとなりますので、予めご了承ください。

※参加可否の通知は参加証の発送を持ってかえさせていただきます。参加証は当日、必ずご持参ください。

※お送りいただいた個人情報は、当シンポジウム開催関係の事務以外に使用することはありません。

FAX 参加申込書 送信先: 03-5652-8690 (株)日産社内
「金融トラブルから身を守るためのシンポジウム」(沖縄)事務局行

■ご氏名

ふりがな

■お電話番号

() -

■ご住所

〒

6次産業化・農商工連携フォーラム in 沖縄の開催について

6次産業化や農商工連携の取組は、農山漁村において、新たな所得や雇用を創出し、地域の活性化につながる重要な取組です。このため、これらの取組に対して、農林水産省と経済産業省並びに沖縄総合事務局は協力して、農林漁業者及び中小企業者の取組を支援してきたところです。

沖縄総合事務局（農林水産部・経済産業部）では、6次産業化や農商工連携の更なる取組の推進を図るため、「6次産業化・農商工連携フォーラムin沖縄」を以下のとおり開催します。

1. 開催日時：平成29年2月10日（金）13：30～16：30

2. 開催場所：沖縄県立博物館・美術館3階講堂

3. 内 容：

（1）基調講演

「全国の6次産業化・農商工連携取組事例」

講演者：（株）アール・ピー・アイ 専務取締役 奥野俊志

（2）支援制度説明

農林水産省担当者、中小企業庁担当者

（3）パネルディスカッション

「身近な人材や地域資源を活用して地域を元気にするために」

【進行】

東京海洋大学学術研究員教授 婁 小波（ロウ ショウハ）

【パネリスト】

生活協同組合コープおきなわ ひと・まち・ものづくりサポーター 石原 修

農業生産法人（株）クックソニア 代表取締役 芳野 幸雄

（有）インターリンク沖縄 専務取締役 豊川 明佳

読谷村役場 ゆたさむら推進部 部長 山内 嘉親

■定 員：200名

■参加申込：

参加希望の方は、別紙申込書に必要事項を記載の上、ファクシミリにてお申込み下さい。

＜お問い合わせ先＞

内閣府沖縄総合事務局経済産業部中小企業課 上間、仲座

TEL：098-866-1755

FAX：098-860-3710

内閣府沖縄総合事務局農林水産部食料産業課 新垣、前里

TEL：098-866-1673



内閣府沖縄総合事務局



6次産業化・農商工連携

フォーラムin沖縄

入場無料

平成29年 **2月10日(金)** 13:30~16:30

【場所】沖縄県立博物館・美術館

(3階 講堂)

《住所》沖縄県那覇市おもろまち3丁目1-1

【アクセスマップ】



●開催趣旨

6次産業化や農商工連携の取組は、農村漁村において、新たな所得や雇用を創出し、地域の活性化につながる重要な取組です。このため、これらの取組に対して、農林水産省と経済産業省並びに沖縄総合事務局は協力して、農林漁業者及び中小企業者の取組を支援してきたところです。

沖縄総合事務局では、6次産業化や農商工連携の更なる取組の推進を図るため、基調講演、支援制度説明及びパネルディスカッションを内容とする「6次産業化・農商工連携フォーラムin沖縄」を開催します。

タイムテーブル

13:30 開会 挨拶

13:40 基調講演

「全国の6次産業化・農商工連携取組事例(仮)」
(株)アール・ピー・アイ 専務取締役 奥野 俊志

14:20 農林漁業者、中小企業者支援制度説明

パネルディスカッション

「身近な人材や地域資源を活用して地域を元気にするために(仮)」

【進行】東京海洋大学学術研究院教授
婁 小波(ロウ ショウハ)

15:00 【パネリスト】
生活協同組合コープおきなわ ひと・まち・ものづくりサポーター 石原 修
16:30 農業生産法人(株)クックソニア 代表取締役 芳野 幸雄
(有)インターリンク沖縄 専務取締役 豊川 明佳
読谷村役場 ゆたさむら推進部 部長 山内 嘉親

16:30 閉会
閉会後は、会場を開放し、参加者同士の自由交流の時間を設けます。

登壇者プロフィール

奥野 俊志 氏 (基調講演 講師)

株式会社アール・ピー・アイ 専務取締役



6次産業化フリーペーパー「第6チャンネル」編集長。全国各地の地域資源を活用した商品開発・ブランディングをサポート。「平成28年度おきなわ型6次産業化総合支援事業」(沖縄県委託事業)統括。

妻 小波 氏 (パネルディスカッション進行)

東京海洋大学学術研究院教授



沿岸域学会学会誌の編集委員長や日本フードシステム学会・国際漁業学会の理事のほか、農林水産省水産政策審議会や文部科学省科学技術・学術審議会海洋開発分科会の特別委員、静岡県水産政策審議会の委員などの多くの委員会委員を歴任。地域ブランド化、6次産業化などに造詣が深い。

石原 修 氏 (パネリスト)

生活協同組合コープおきなわ ひと・まち・ものづくりサポーター



コープおきなわにおいて、バイヤー、商品開発、店舗開発に携わり、12市町村と20品目を超える商品開発を行い、約12億円の実績を残す。沖縄県内における地域おこしのお手伝いを行い、2012年地域貢献コンテスト最優秀賞を受賞。2011年フードアクションニッポン優秀賞受賞。

芳野 幸雄 氏 (パネリスト)

農業生産法人株式会社クックソニア 代表取締役



15年間の農産物の流通業に終止符をうち、農業を生業として生きていこうと東京から沖縄に移住。地元やんばるの飲食店・加工企業・行政・団体、そして一般生活者の方々と連携し、食で地域を元気にするプロジェクト「やんばる畑人プロジェクト」を立ち上げ、「やんばるスパイス」を商品化。「やんばる畑人プロジェクト応援店(飲食店)制度」もスタート。

豊川 明佳 氏 (パネリスト)

有限会社インターリンク沖縄 専務取締役



沖縄県金武町の鍾乳洞でお客様の泡盛を熟成させる「鍾乳洞の古酒蔵」の運営や「鍾乳洞熟成豆腐餅」の製造販売、同町の田芋を活用した料理を提供する「レストラン長楽」の運営、田芋スイーツの商品化等、地元の資源を有効活用した地域活性化に取り組む。英国にてMBA取得、沖縄大学法経学部 専任講師。

山内 嘉親 氏 (パネリスト)

読谷村ゆたさむら推進部 部長



行政マンとして読谷漁協の再建に取り組みながら「海人自慢のもずく丼」、「とうがんパイ」など、読谷村の人気ご当地商品の開発なども手掛ける。独自のアイデアと柔軟な発想で、地元生産者が真剣に育てたものに、ストーリーを加え、地域活性化の仕組みづくりを行っている。

参加申込書

FAX: 098-860-3710

沖縄総合事務局中小企業課 行き

所属団体名(会社名):

TEL:

FAX:

E-mail:

参加者氏名1:

参加者氏名2:

参加者氏名3:

フォーラムで聞きたいポイント:

【申込方法】

・参加ご希望の方は本申込書に必要事項をご記入の上、ファクシミリにてお申し込み下さい。

【申込み・問い合わせ先】

沖縄総合事務局 経済産業部中小企業課 TEL 098-866-1755 FAX 098-860-3710

沖縄総合事務局 農林水産部食料産業課 TEL 098-866-1673

【個人情報の取扱について】

参加申込に際して、ご記入頂いた個人情報は、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」に則り、お申し込み頂いた本フォーラムの事務以外には使用しません。

「OKINAWA Cruise Report」の公表開始について

～沖縄へのクルーズ船の寄港回数（速報値）などを毎月公表します～

沖縄へのクルーズ船の寄港回数などについて、これまで年に数回公表していたところですが、昨今のクルーズ船寄港に関する社会的関心の高まりを受け、今後は毎月、沖縄総合事務局のHPにおいて、寄港回数速報値やクルーズ船に関するトピック等を「OKINAWA Cruise Report」として公表します。

1. 「OKINAWA Cruise Report」の内容

- ・ 沖縄へのクルーズ船の寄港回数（速報値）
- ・ 沖縄でのクルーズに関するトピック

2. 「OKINAWA Cruise Report」1月19日号・・・・・・別添のとおり

沖縄総合事務局では沖縄のクルーズ等の動向を把握すべく、毎月港湾管理者に調査協力をいただき、その結果をとりまとめお知らせするものです。

「OKINAWA Cruise Report」は沖縄総合事務局ホームページにて配信します。

<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/minato/index.html>

【プレスに関する問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課

担当者：坂本、名嘉

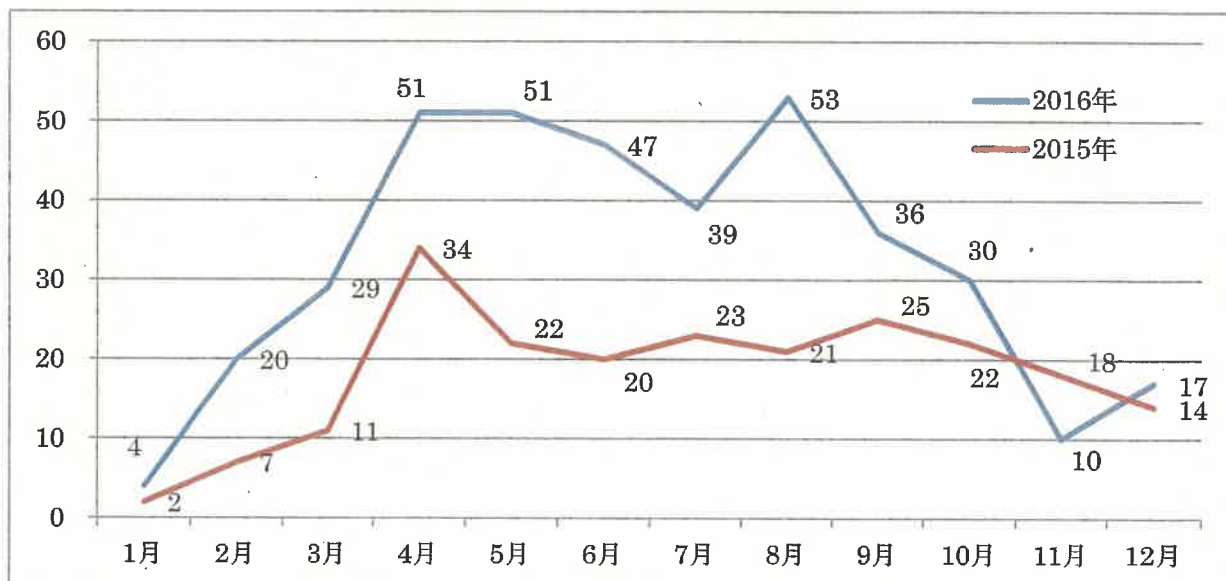
TEL：098-866-1906、FAX：098-861-9916



OKINAWA Cruise Report

- 2016 年沖縄県内へのクルーズ船の寄港は 387 回となり、2015 年（219 回）から 1.77 倍となり過去最多となりました。
- 2016 年のクルーズ船の月別寄港回数は、11 月を除き、前年を上回りました。
- 2016 年 11 月については、年初、例年と同様の寄港回数を見込んでいたものの、天候不良による寄港取りやめ等により、前年同月の寄港回数を下回りました。
- 2016 年は、外国船の寄港回数が前年度比 1.85 倍と増加しました。

沖縄県へのクルーズ船月別寄港回数



2016 年 沖縄県内へのクルーズ船寄港回数

単位：回

月	2015			2016			前年同期比		
	外国船	日本船	計	外国船	日本船	計	外国船	日本船	計
1	1	1	2	4	0	4	4.00	—	2.00
2	6	1	7	20	0	20	3.33	—	2.86
3	11	0	11	29	0	29	2.64	—	2.64
4	19	15	34	35	16	51	1.84	1.07	1.50
5	21	1	22	51	0	51	2.43	—	2.32
6	20	0	20	46	1	47	2.30	—	2.35
7	23	0	23	38	1	39	1.65	—	1.70
8	21	0	21	53	0	53	2.52	—	2.52
9	25	0	25	35	1	36	1.40	—	1.44
10	22	0	22	30	0	30	1.36	—	1.36
11	16	2	18	9	1	10	0.56	0.50	0.56
12	13	1	14	16	1	17	1.23	1.00	1.21
計	198	21	219	366	21	387	1.85	1.00	1.77

出典：港湾管理者からの聞き取りに基づき沖縄総合事務局が作成



OKINAWA Cruise Topics

○2017 年 1 月 2 日、石垣港にスーパースター・アクエリアスが、今年初の沖縄県内へのクルーズ船として寄港しました。

現在就航しているスーパースター・アクエリアスは、ハワイクルーズで親しまれた「ノルウェー・ジャンウインド」を改装し、スタークルーズの「スーパースター・アクエリアス」として 2007 年から就航しています。

本船は、2016 年に 117 回の寄港実績があり、沖縄への寄港回数が 1 番多いクルーズ船となっています。

2017 年においても、数多くの寄港が期待されます。



【問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課

担当者：坂本、名嘉、村田、平良

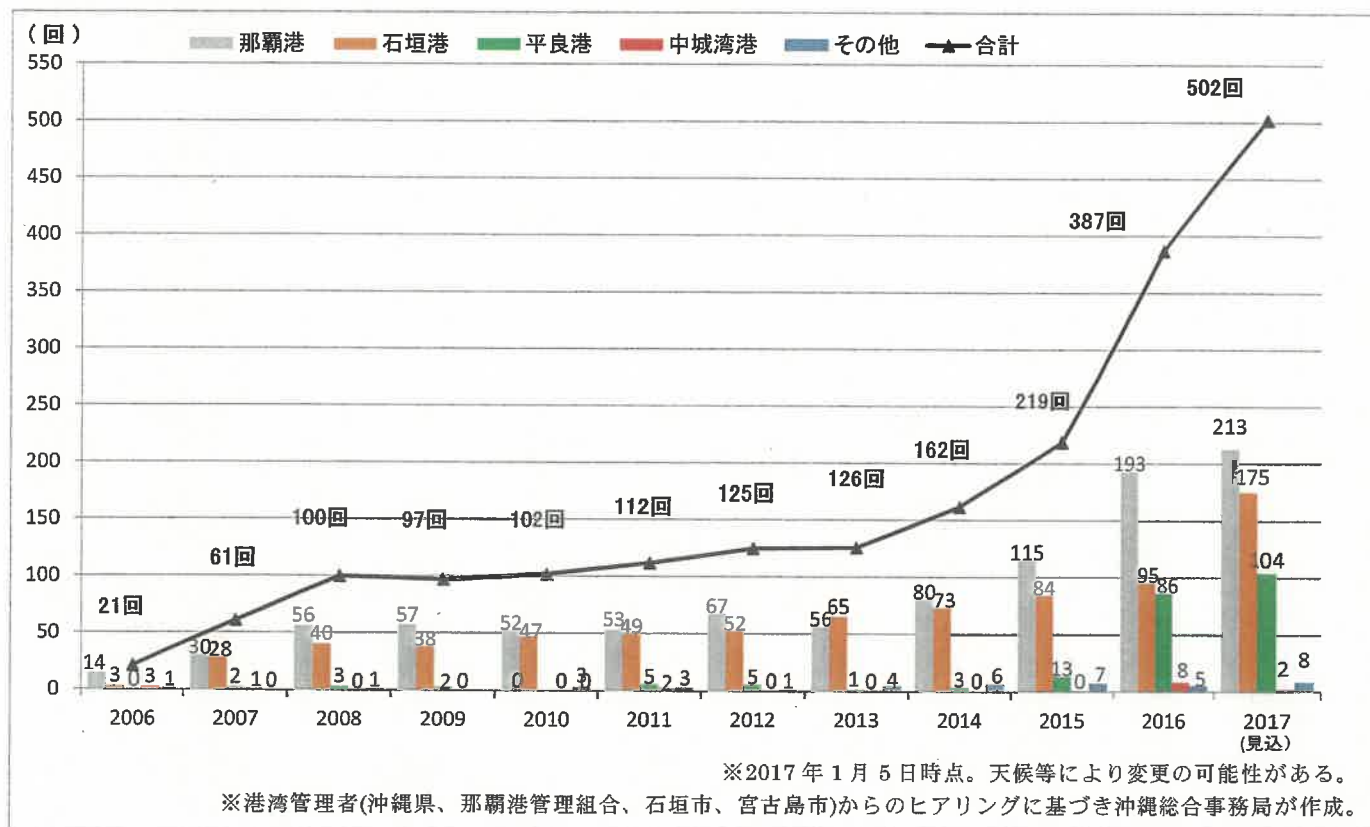
TEL：098-866-1906、FAX：098-861-9916

沖縄県内に寄港したクルーズ船の2016年の実績及び 2017年の見込みについて

～2017年は県内過去最多の502回の見込み～

2016年の沖縄県内へのクルーズ船の寄港は387回となり、2015（219回）から77%増となり過去最多となりました。2017年も過去最多502回（30%増）の寄港となる見込みです。また、港別においても那覇港213回（10%増）、石垣港175回（84%増）、平良港104回（21%増）は過去最多となる見込みです。

【沖縄県内のクルーズ船寄港回数の推移】



<参考情報>

○2017年、沖縄に寄港するクルーズ船については、昨年同様、「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」（全長348m、16万トン）及び「オベーション・オブ・ザ・シーズ」（全長等は、前記のクァンタムに同じ。）が最大船舶となる見込みです。

○2017年1月2日、石垣港にスーパースター・アクエリアス（5万トン）が、今年初の沖縄県内へのクルーズ船として寄港しました。

【問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課
担当者：坂本、名嘉
TEL：098-866-1906、FAX：098-861-9916

(1月 定例記者会見資料)

沖縄総合事務局の今後の行事予定（1月19日～2月15日）

[illegible]